

## 「酒田港港湾脱炭素化推進計画（案）」に対する意見募集の結果について

1 意見の募集期間 令和6年2月22日（木）から令和6年3月6日（水）まで

2 提出された御意見の件数 7件（1人）

3 提出された主な意見の概要及び意見に対する県の考え方

番号	意見の概要	意見に対する県の考え方
1	3 ページ 図 2 酒田港における品種別輸移出入取扱貨物・4 ページ 酒田港における取扱貨物量の内訳では、石炭(1,701,700 トン)が輸入の 88.6%・全体の 55.2%ですが酒田港港湾脱炭素化推進計画では、港湾を使用する事業者の事業計画による部分が多いと思料されますが、山形県としては、どのような方向性をもっているかご教示ください。	本計画は、官民の連携による脱炭素化の促進や、脱炭素化に資する港湾の効果的な利用の推進についてとりまとめたもので、官民関係者が一体となって取組を推進していくこととしています。
2	5 ページ 目指すべき方向性-1:新規貨物の創出と港湾機能の強化、洋上風力に「酒田港近隣に導入検討中」と記載があります、遊佐町沖が「促進区域」に指定され、酒田市沖が「有望な区域」に選定されていますが、遊佐町沖については、当該促進区域内において発電事業を実施する事業者の選定に向けた手続きが進められていますが、遊佐町沖もこの機能強化の事業に見込まれていますか。	遊佐町沖における洋上風力発電の導入は、27 ページに記載しているとおり、港湾における脱炭素化の促進に資する将来の構想として、本計画に見込んでいます。
3	12 ページ 表 2 酒田港港湾脱炭素化推進計画の主な対象施設の停泊中の船舶に、定期船とびしまや山形県の海洋実習船鳥海丸、漁船、作業船は含まれますか。また、ふ頭内の上屋には冷蔵庫及び冷蔵倉庫は含まれますか。	主な対象施設の停泊中の船舶には定期船とびしまや山形県の海洋実習船鳥海丸、漁船、作業船も含まれます。また、冷蔵庫及び冷蔵倉庫は、ふ頭内の上屋にありませんので含まれませんが、ふ頭外の工場等に含まれます。

番号	意見の概要	意見に対する県の考え方
4	<p>13 ページ ブルーインフラの実証実験を行っているとのことですが、実証実験の良好な結果が判明した後の事業化や維持管理が難しいとのことですが、保全主体はどのようにするか、維持管理計画は作成されているのですか。</p>	<p>現時点で、ブルーインフラの事業や保全の主体については決まっています。このため、維持管理計画も作成しておりません。今後の検討事項として考えています。</p>
5	<p>14 ページ 1)次世代エネルギーの拠点化に、海外・国内から水素等を大量輸送するための受入環境整備とありますが、2024 年問題や貨物鉄道輸送の CO2 削減効果が高いこともあり、国土交通省においても鉄道による貨物輸送が見直されているようです。JR 貨物(株)にとって羽越線酒田～酒田港 2.7 kmは数少ない第一種鉄道事業許可区間となっているようです。羽越本線の利用促進と酒田港の利用促進を図ることはできませんか。</p> <p>なお、2023 年 10 月 6 日我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議において、物流革新緊急パッケージでモーダルシフトの推進、・鉄道(コンテナ貨物)、内航(フェリー・RORO 船等)の輸送量・輸送分担率を今後 10 年程度で倍増と決定されました。水素の運搬についても鉄道での水素輸送で CO2 排出量 8 割以上削減効果があるようですが、このことは検討されていますか。</p>	<p>羽越本線を利用した酒田港の貨物輸送の促進や、水素の鉄道輸送については、今後、関係者の意見を伺っていきます。</p>

番号	意見の概要	意見に対する県の考え方
6	<p>業務用冷蔵庫や業務用冷蔵倉庫の更新の補助事業はありませんが、このことは事業者の企業力にたよるのでしょうか。27 ページ 表 12 港湾における脱炭素化の促進に資する将来構想における産業用設備の脱炭素化に含まれているのでしょうか。</p>	<p>現時点で、本計画に業務用冷蔵庫や業務用冷蔵倉庫の更新に関する補助事業はありません。今後、国や県の施策の動向等の情報を共有していきます。</p> <p>業務用冷蔵庫や業務用冷蔵倉庫の更新は、27 ページの産業用設備の脱炭素化に含まれます。</p>
7	<p>24 ページ 表 11 港湾・臨海部の脱炭素化に貢献する事業ですが、風力発電所の寿命が 20 年、ソーラーパネルの寿命も 20 年との情報がありますが、本計画の期間が 2050 年であることを考慮すると、このことも本計画に取り込まれていますか。PDCA サイクルに入っているのですか。図 14 酒田港港湾脱炭素化推進計画の目標達成に向けたロードマップに記載されているのでしょうか。</p>	<p>24 ページ 表 11 港湾・臨海部の脱炭素化に貢献する事業にて、一部の風力発電設備をリプレース(更新)することを記載しています。また、30 ページ 図 14 酒田港港湾脱炭素化推進計画の目標達成に向けたロードマップにて、風力発電や太陽光発電は将来的に継続すると想定しており、これには設備の更新も含まれます。</p>